

福智版ハローワーク 役場本庁内で気軽に“しごと探し”

10月1日、ハローワークの求人情報を自由に閲覧できる「しごと相談窓口」を役場本庁舎2階に開設しました。平日の9時から17時の間、担当職員2人が仕事内容や履歴書の記入方法の説明、利用者の希望や適性に合った仕事紹介などの就職相談に応じます。今後は仕事探し以外にも、空き家情報の提供なども行い、町内での雇用・定住促進につなげていきます。



↑「お気軽に利用を」と話す嶋野町長、熊本室長、ハローワーク阿部孝治所長。

↓歓迎式典で、練習を重ねた息ぴったりの「よさこい」を披露する町の子どもたち。



2015年日韓交流事業 言葉と海を越えて育む友情

10月10日から2泊3日の日程で、町内の小学校5・6年生14人が韓国へ行き、泗川市の初等学生21人と交流しました。「上野焼」の縁で始まった町の日韓交流事業で、12年間息の長い交流を続けています。子どもたちは昔ながらの韓国の遊びや、韓国の文化に触れることができる「民俗村」などの観光を一緒に楽しんだりしながら、言語の壁を越えて友情を深めました。

↓役場本庁舎を訪問し、新しい図書館・歴史資料館の模型を眺める小川県知事。



平成27年度 知事のふるさと訪問 田川地域の強みをつなぎ活性化に

小川洋県知事が県内各地に出向き、直接県民と触れあう「知事のふるさと訪問」。10月20日、県知事が「田川地域の活性化」をテーマに福智町・糸田町・香春町を訪れ、役場来庁や平成筑豊鉄道の見学などをしました。観光振興や地域活性化に取り組む町民との懇談では、1時間以上にわたり熱い議論を展開。地域の強みや課題、ビジョンについて実りある意見交換を行いました。

親子勾玉づくり教室 古墳時代に思いをはせ勾玉づくり

児童センター主催の「親子勾玉づくり教室」が遠賀川流域の古墳・遺跡同時公開に合わせ10月19日に行われました。参加した41人の親子は青空の下、県指定文化財「伊方古墳」前で、古代よりお守りとして身につけられてきた勾玉づくりに挑戦。参加者は学芸員の説明を受けながら、思い思いに勾玉を作ったり、石室内を見学したりして伝統と歴史を肌で感じました。



↑自分だけの勾玉づくりに夢中になる親子。石をやすりでびかびかに磨き上げます。

↓ドリブルなどの基礎を指導するライジング福岡で活躍中の石谷 聡 選手と田川市出身の古賀 雷 選手。



石谷聡さん バスケットボール教室 憧れのプロ選手が一日コーチ

町出身のプロバスケットボールプレーヤー、石谷 聡 選手が9月30日、地元の子どもを対象にバスケットボール教室を行いました。「ライジング福岡」で活躍する憧れの石谷選手に直接習うことができる貴重な機会に、ミニバスケットチームに所属する田川市郡の小4～6年生約150人が参加しました。ドリブルやシュート、ステップなどの技術だけでなく、心構えなども丁寧に指導した石谷選手。「子どもたちにバスケットボールの楽しさを体いっぱい感じてもらうことで、地元チームを盛り上げたい」と熱い想いを語りました。

第10回豊徳祭 地域全体で心と心のつながりを

10月3日、社会福祉法人豊徳会主催の「豊徳祭」が方城グラウンドで行われました。地域交流や障がい者への理解を深めてもらうことを目的に行われている催しで、毎年多くの地域住民でにぎわう一大イベント。法人利用者によるダンスや手話をはじめ、バルーンアートやバンド演奏などがステージを盛り上げ、来場者約1500人は楽しいひとときを過ごしました。



↑利用者グループが歌に合わせ手話を披露。会場が暖かな雰囲気になりました。

↓啓発チラシなど約200セットをドライバーに手渡し、安全運転を促す嶋野町長。



秋の交通安全県民運動 交通事故のない町を目指して

9月24日、金田ふれあい朝市前広場で交通安全推進協議会、田川警察署や町職員が交通安全運動を行いました。「飲酒運転の撲滅」や「シートベルト・チャイルドシート着用の徹底」などを呼びかけることで、県内一斉に交通事故ゼロを目指す取り組み。ドライバーは急な誘導に少し戸惑いながらも、交通安全の呼びかけに笑顔で応じ、安全運転を誓っていました。